

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

1月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「エナガ科 エナガ」

柄長。留鳥。全長 14cm。長い尾羽が特徴。小さな群れで行動し、メジロなど他の小鳥と混群する事もある。



「ツグミ科 シロハラ」

白腹。冬鳥。全長 25cm。越冬中は1羽で生活している。地上を跳ね歩いてミミズ類や昆虫類の幼虫を採食する。



「メジロ科 メジロ」

目白。留鳥。全長 12cm。つがいや小群で生活する事が多い。樹上で昆虫類、木の実、花蜜等を食す。



「モクレン科 オガタマノキ」

招霊木。日本に自生するモクレン科では唯一の常緑樹。ご神木とされる事が多い。直径 3cm 程の花が咲いている。



☆「モチノキ科 クロガネモチ」☆

黒金鷄。常緑高木。樹皮は灰白色でよく目立つ。都市環境にも強く街路樹や庭木として人気がある。



☆「ツバキ科 ヤブツバキ」☆

藪椿。海岸沿いに多い常緑小高木。日本原産で園芸品種の基本種。観賞用と共に重要な油用植物でもあった。



「サクラソウ科 ツルコウジ」

蔓柑子。暖地の林下に生える常緑小低木。全体的に柔らかい毛があり、茎が地面を這い群生する。実は直径 5-6mm。



「サルトリイバラ科 サルトリイバラ」

猿捕茨。落葉つる性半低木。茎に刺があり、刺と葉柄の巻きひげで他物にからみついて茎を伸ばす。



☆「ショウガ科 アオノクマタケラン」☆

青野熊竹蘭。湿った林下に生える常緑多年草。直径 10mm 程の赤い実がつき始めた。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ類。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

園地内のあちらこちらで様々な植物の赤い実を見る事ができます。
寒い日が続きますが、今しか観察できない植物や鳥たちに会いにきませんか(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2021 年 1 月後半号
宇久井ビジターセンター



